

わがふるさと水巻町の

「町民のことば」と「町の花・町の木」を募集

## 未来に向けて

ふるさと水巻を

実りある町に育てていくため

わたしたちの生活のよりどころ「町民のことば」

「町の花・町の木」をみんなで考えてみませんか。

## 主旨

(1) 町民のことばについては、町民一人ひとりが、この故郷を愛し、自然との調和を図りつつ、明るい住みよい、未来に実りあるまちを築くため、町民がお互いに守るべき規範や約束を盛り込んだものとします。

(2) 町の木・花については、水巻町を象徴し、町民がこれに親しみ、水巻町の気候風土に適したものとします。

## 募集期間

六月一日（月）～六月三十日（月）

午前八時三十分～午後五時

但し、土曜日は午前中とし、日曜日・祝祭日は除きます。

(郵送の場合は六月三十日消印有効)

応募方法など詳しいことは、差し込みの「応募の手引き」をご覧ください。なお、町民のことばとは他市町村で使われている「憲章」のことで、チラ紙の文中にもわかりやすく一部に町民憲章と記入させて頂きました。

## 総合計画シリーズ② — 基本計画 —

# 明るく健康な うるおいのある町に



資料館の建設も必要と考えます。

十七人おります。通学路内に義務学校の設置を検討し、県に働きかけます。

#### ■文化施設

授業的には、文化会館や図書館、郷

総合計画シリーズ先月号に続いて、今月号から基本計画についてお知らせします。基本計画は、「水巻町をめぐる概況」「水巻町の当面する問題とその施策」「地域構造とフレーム」「行財政と計画推進の課題」の四項目からなっています。今回は、皆さんに関係が深い「水巻町の当面する問題とその施策」の概要をお知らせします。

#### ■学校教育

幼稚園・施設数は充分といえます。  
長期的には、幼稚園教育の充実を図る

と、小・中学校・施設数は充分といえます。校内および敷地境界に植樹などを

積極的に行い、環境整備を促進します。  
義務学校・町内には心身障害児が二

十人おります。通学路内に義務学校の設置を検討し、県に働きかけます。

## 全町民が参加できる行事を企画

### 教育・文化にめぐまれた町をめざして

#### ■社会教育の推進

青少年教育一并行と不良化を防ぎ

ます。このために、幼稚・少年期

の家庭教育を重視し、家庭や地域ぐる  
みで子供のしつけなどに取り組むよう  
啓発に努めます。また、公民館や小学

校などの公共施設の利用を図ります。  
また、各種サークルの自主的な活動を

指導育成します。

高齢者教育—高齢者が生きがいのあ

る生活を送り、地域社会とのつながり

を保つため、高齢者がその豊富な知識

と経験を活用できる場を作ります。ま

た、各種サークルなどの活動を指導育

成し、施設の整備を促進します。

## 社会保障のゆきどいた町をめざして

### 老人憩の家の増設・巡回児童文庫の設置

施設するなど生活しやすい社会環境づく  
りを図ります。

#### ■高齢者の福祉

健康的な身体を保つため、定期検診を  
受けられるよう徹底をめることを重点とし  
てきめ、介護を必要とする在宅の高齢  
者に対し福祉サービスの充実に努めま  
す。また、二つめの老人憩いの家の建  
設を検討します。

#### ■身体障害者の福祉

国・県などの身体障害者に対する施  
設の充実、年金の増額と給付基準の引  
下げに努めることで、職業の斡旋を  
県などに働きかけます。

#### ■勤労者の福祉

また、ボランティアの育成に努める  
とともに、身体障害者が安心して歩行  
できる歩道の整備や施設の利便性を配  
置などに働きかけます。

生活相談など相談体制の充実を図る  
とともに、雇用機会に恵まれない人々  
の雇用促進に努めます。

### 地域社会の整備

校など公共施設の利用を図ります。  
成人教育—お互いのつながりを深め  
スポーツや文化などに創造力を豊かな能  
力を養うため各種講座を開設します。  
また、各種サークルの自主的な活動を

指導育成します。

高齢者教育—高齢者が生きがいのあ  
る生活を送り、地域社会とのつながり  
を保つため、高齢者がその豊富な知識  
と経験を活用できる場を作ります。ま  
た、各種サークルなどの活動を指導育  
成し、施設の整備を促進します。

近隣住区の特性に応じた整備を行い、  
施設の計画および管理運営については  
住民の意見を反映させます。

近隣住区の特性に応じた整備を行い、  
施設の計画および管理運営については  
住民の意見を反映させます。

#### コミュニティ施設体系

	施設名	面積	近隣分類	施設種別	地図	備考
公民館	若狭町役場	20坪~40坪	200坪~400坪	生涯学習施設	1,500坪~2,500坪	町民グラウンド
レクリエーション	若狭町役場			幼稚園・小学校	中学校	町民公園 スポーツセンター 町民体育館・武道館 図書館・教材センター
教育・文化	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
衛生・保健	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
保健・医療	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
芸術会	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
保育・福祉	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
健	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
交	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館
行波連絡	若狭町役場			若狭町立図書館		若狭町立図書館

## 快適な生活環境をめざして

### 一人一室の推進・公園の整備・

#### 緑のまちづくりを推進

##### ◎住宅

水谷町は住民一人当たりの戸数が県内平均より少なく、また、浴室の無い住宅もあります。今後の住宅政策としては、果的から実的水準の向上に努め、一人一室の目標へ前進させます。

また、町営住宅は昭和七十五年までに、かなりの数が老朽化するため建替え計画を策定し、質の良い住宅供給を推進します。

一方、人口流入による宅地や住宅も必要となります。住宅の供給については民間による建設を誘導します。

##### 場・児童公園(約十平方メートル)、軟式野球が行える近隣公園、将来は全

町民の交流の場となる総合運動場の整備を促進します。

明神ヶ丘山、多賀山、豊前坊山の緑地を保全し、展望台や登ほんルートを整備します。また、遠賀川河畔にサイクリングクロードやジギングコースなどの整備を促進します。

また、町のシンボルとなる樹木を指定し、全町民参加による緑のまちづくり運動をすすめます。

##### ◎上水道

昭和六十四年には岡垣町に広域組合による二つめの処理場と昭和六十三年には竣工施設も完成し、ごみ処理は好転します。しかし、家庭からの回収に問題があり、ごみ置場を整備し、分別

##### ◎ごみ処理

私たちは生活の基盤である水を安定的に給水するため、第三次拡張計画を進めます。これが完成すれば北九州市から一日の最大給水量一万六千七百七十立方メートルの净水を受ける予定

##### ◎災害対策

公事から町民を守り、災害を防ぐため、消防体制及び防災体制の充実に努めます。また、ミニ開発の規制を検討します。

八人に充分に対応できます。  
また、町民へのサービスを強化し、  
広域水道を推進つつ水道料金の町民負担の軽減に努めます。

### 明るい健康な町をめざして

#### 救急医療・夜間診療の体制を確立

##### ◎住民の健康管理

住民自らが健康管理をする意識の高揚を図るために、研修相談を充実するほか健康教室や健康大会などを開催し、年一回の定期検診の徹底を図ります。

また、乳幼児から老人までの生涯を通じての総合的な健康管理体制を図りながら、救急医療や夜間診療の体制を確立するよう努めます。

##### ◎災害対策

公事から町民を守り、災害を防ぐため、消防体制及び防災体制の充実に努めます。また、ミニ開発の規制を検討します。

(C) 町民広場・投場 中央公民館・図書館	○ 近隣公園
□ 駅	◀ 都市公園
■ バスターミナル	● 公民館
◆ スポーツセンター	△ 幼稚園・保育所
■ 体育館	▷ 歩道・緑道
◇ 町民グラウンド	○ 公園・緑地

惠まれた自然環境の保全(育成を図りながら、ちびっこ広場(約三百㍍方メートル)や町民相互の、ふれあいの

#### 施設配置、公園・緑地 歩道・緑道図



# 21世紀の子供たち



吉武 智哉(梅ノ木団地) 松尾 貴徳(下二)



佃 卓実(吉田車返)



小畠 拓也(古賀団地) 永島 良治(下二)



木下 拓也(吉田二) 木下 祐介(吉田団地) 図師 将之(二)



山口 元貴(頃末)



諫山 敬一(入江団地)



田中 慎二(吉田)



吉村 祐樹(吉田)



吉井 康晴(二)



岩本 遼太(頃末)



長野 哲也(みずほ団地)

# すこやかに育て

初節句おめでとう



平城 元(猪熊)



本田政次郎(おかの台) 田口 憲也(橋口)



平 誠也(高松団地)



水崎 健太(猪熊)



高橋 直(猪熊町住)



河野 広幸(おかの台)



平 誠也(高松団地)



大貝 祐輔(猪熊)



山崎 和也(おかの台)



浅井 政樹(おかの台)



水野 祐一(梅ノ木団地)



窪田 有祐(おかの台) 原 真志(おかの台) 麻頭 悠弥(梅ノ木団地)

## お知らせ

役場☎ 201-4321



福岡県婦人就業援助センター第2号支所では、就業を希望される家庭の婦人を対象に次のとおり「ホームヘルパー講習会を開きます。

期間 6月16日～7月30日。毎週月・水・金曜日の午前10時から午後4時まで、一日5時間。

受講料 無料（教材費は自己負担）  
会場 戸畠ステーションビル  
申込み 5月26日・27日（9時～16時）に、問センター（電〇九四八一三三四一一又は四二五六）まで電話で申込みください。

受講資格 昭和34年4月2日から昭和40年4月1日までに生まれた者  
申込期間 5月16日～5月23日  
申込用紙請求先 福岡県税局、最寄りの税務署又は各大学就職担当課

申込書の提出先及び問い合わせ先 福岡国税局人事第二課（電〇八一二〇九二一四一～一〇〇三一）まで  
※勤務先は、福岡、東京、関東信越、名古屋及び大阪などの各國税局管内の税務署となります。

（ホームヘルパーの講習会  
受付 五月二六・二七日  
五一一一一一）

## ●問合せ先

水巻町教育委員会・社会教育係  
市青少年対策課内審〇九二一六

少年団体連絡協議会事務局（県  
府青年対策課内審〇九二一六

五月三十日は  
自動車税の納期限

自動車税などの県税は、平和で活力

に満ちた、ふるさと福岡県、つくりのためを使われています。

車をお持ちの皆さん、自動車税は「5月31日」までに、忘れないように納めましょう。なお、納税通知書が届いていないときや、県税についてのお問い合わせは、葛木財務事務所（電〇七六一一四〇二三）まで。

写真コンクール作品募集  
△募集期間 5月1日～7月31日  
△応募資格 ①一般の部（四ツ切）又はカラースライド35ミリ以上②中学生の部（キャビネット）③小学生の部（キャビネット）

△テーマ 簡易保険、郵便年金貯蓄で作られた施設（例）伊左座・

壱木・吉田・下二の各小学校、お

かの台団地、高松団地、鶴口団地、武道館、古賀・猪熊線、立廟敷、

猪熊線、古賀・机線など。

※応募先は、最高の郵便局。なお、詳しいことのお尋ねは折尾郵便局（電六九一〇七〇五又は六〇二一六五四三）まで。

作文・写真コンクール  
△募集期間 5月1日～6月30日  
△応募資格 小学五・六年生と中学生

△テーマ 簡易保険、郵便年金に関するもので、日ごろ考えている

初夏をうける花・さつきの展示会

が、次とのおり開かれます。さつき展も今年で十回目。水巻さつき同好会の会員が丹精こめて育てた作品が会場に陳列されます。（観賞ください。）

△日時 5月29日～5月26日  
△会場 水巻ゲートボール場  
△申込 申込用紙（公民館長が所持）に記入の上、5月20日・午前10時から代表者会議に持参ください。

## ゲートボール大会

○持つて来るもの  
「旧保険証」と「印かん」

五月二十一日・九時から  
△日時 5月21日（水）午前9時  
△会場 水巻ゲートボール場  
△申込 申込用紙（公民館長が所持）に記入の上、5月20日・午前10時から代表者会議に持参ください。

資格：福岡県在住の小学校5年以上  
中学校までの男女  
経費：小学生 41,000円  
中学生 44,000円  
△班長

◆団員

行先：沖縄本島

期間：第19回 7月20日～7月24日  
第20回 7月29日～8月2日

## さつき展



△日時 5月26日  
△会場 水巻ゲートボール場  
△申込 申込用紙（公民館長が所持）に記入の上、5月20日・午前10時から代表者会議に持参ください。

## 部品募集

## バスケット・クラブ

水巻バスケット・クラブでは、部員を募集しています。練習は毎週水曜日と土曜日、午後7時から9時まで水巻南中学校体育館で行っています。

バスケットが好きな人、何か運動をしてみようと思っている人、一緒に汗を流してみませんか。

枚程度

△原稿枚数 四百字詰め原稿用紙で、

小学生一枚程度、中学生四枚／五

5月6日から6月5日までに青少年団体連絡協議会事務局（県府青年対策課内審〇九二一六

## 五月三十日は

## 自動車税の納期限

こと、思ったこと、感動したこと



## 成人病検診

成人病・胃がん・肺がん

昭和六十年度の胃がん検診の受診者は四百十五人でした。その内、四十六人が要精密検査の対象者で、この中から早期がんの人が二人発見されました。がんは、早期に発見できれば必ず

△日時 5月23日(金)  
 ○受付 午後1時～午後1時30分  
 △場所 役場一〇一大会議室  
 △料金 子宮がん 五百円  
 乳がん 五百円  
 △対象者 乳がん 五〇名  
 ※子宮がん、乳がんは同時に受診できます。電話でも受付いたしますので早めに健診対策係に申込みください。



(各医院の診療時間内)

△日時 5月30日(金)  
 ○受付 午前8時30分～午前11時  
 △場所 身障者福祉センター  
 △内容 【二次検診】検尿、血圧測定、胸部レントゲン【精密検査】血液検査(貧血、血糖、肝機能、総コレステロール、中性脂肪)。

△対象者 子宮・乳がん検診  
 ○受付 午後1時～午後1時30分  
 △場所 役場一〇一大会議室  
 △料金 子宮がん 五百円  
 乳がん 五百円  
 △対象者 乳がん 五〇名  
 ※子宮がん、乳がんは同時に受診できます。電話でも受付いたしますので早めに健診対策係に申込みください。

△日時 5月1日～10月31日  
 ○受付 13時50分～14時30分  
 △接種場所 収容一〇一大会議室  
 △料金 1回につき七百五十円。  
 △対象者 但し中学生以下の児童及び幼児、生活保護世帯、均等割以下、非課税世帯の人は無料になりますので、問診票を役場健康対策課窓口まで取りに来て下さい。

△問診票 各医院の窓口に(一般)当日熱があつたり、下痢をしていなかった。がんは、早期に発見できれば必ず

△問診票 各医院の窓口に(一般)当日熱があつたり、下痢をしていなかった。がんは、早期に発見できれば必ず

る子供



## 小児マヒ予防の生ワクチン投与

△日時 5月29日(水)  
 ○受付 13時50分～14時30分  
 △場所 役場一〇一大会議室  
 △注意事項 当日の朝、必ず体温を計って来てください。

△対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。は一度だけしか受けた子供。

△対象者 満三歳以上全員と、小中学生については、小中学生は学校で実施します。(小中学生は学校で実施します)  
 △実施期間 5月15日～6月30日  
 ○追加接種 基礎免疫を完了した人は、二年毎に一回接種

△対象者 週間から二週間の間隔で二回接種し来年一回接種(基礎免疫確立)。

△対象者 お医者さんに相談して下さい。  
 △注意事項 まどろみの朝、体温を計って来てください。  
 △対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。

△対象者 は一度だけしか受けた子供。

△対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。

△対象者 お医者さんに相談して下さい。  
 △注意事項 まどろみの朝、体温を計って来てください。  
 △対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。

△対象者 は一度だけしか受けた子供。

△対象者 お医者さんに相談して下さい。  
 △注意事項 まどろみの朝、体温を計って来てください。  
 △対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。

△対象者 は一度だけしか受けた子供。

△対象者 お医者さんに相談して下さい。  
 △注意事項 まどろみの朝、体温を計って来てください。  
 △対象者 生後二ヶ月から四歳までの乳幼児でまだ一度も服用していない子供。

## 婦人ピーチバレー競技会

5月25日 午前9時30分開会  
 町民体育館  
 □ピーチボールバレー  
 30歳代・40歳代・50歳以上の3グループ  
 □インディアカ  
 30歳以上の人で、4人一組  
 □申込方法  
 申込用紙(公民館長が所持)に記入の上  
 5月22日まで教育委員会へに提出のこと。

# むし歯の予防

## アドバイス



六月四日は、むし歯予防デー。この日から十日まで「歯の衛生週間」です。そこで、むし歯の予防について連鎖歯科医師会にお聞きしました。

### むし歯の予防三ポイント

現在、むし歯の予防法には、大きく分けて三つのポイントがあります。一つ目は「歯磨き」、二つ目は「砂糖の制限」、三つ目は「フッ素の応用」です。これらの予防法を総合的に実践することが大切なのです。

### 3 フッ素の応用

フッ素は、歯の質を強くする特別の成分があり、正しい歯磨き、砂糖の制限と併せて、フッ素の応用を行うことが最適のむし歯予防法と言えます。

むし歯の予防法について詳しいことは、六月八日に連鎖歯科医師会館（保健所横）で「母と子のむし歯予防教室」を開催します。ご参加ください。

### お菓子類の砂糖含有量

プリン1個	8g
ピスケット3枚	5g
カステラ1切	22g
コカ・コーラ1缶(250ml)	25g
スプライト1缶(250ml)	24g
天然果汁100%ジュース(カップ1杯・200ml)	20g
天然果汁50%ジュース(カップ1杯・200ml)	25g
ピーチネクター1缶(250ml)	35g
つぶつぶオレンジ1缶(250ml)	30g
コーヒー牛乳カップ1杯(200ml)	20g
カルピス カップ1杯	24g
アイスクリーム カップ1個	25g
アイスクリーム バー1本	18g

### “がん予防のための12ヵ条”



④ 塩辛いもの、熱いものは多く取らない



⑤ 深酒をしない



⑥ 食事せずにバランスの取れた栄養を取る



⑦ 同じ食品を繰り返し食べない



⑧ 過度に日光に当たらぬ



⑨ 飲酒を避け



⑩ 過度に日光に当たらぬ



⑪ 禁煙



⑫ ひどく焦げた部分は食べない

# がんを防ごう

死因のトップにたつ「がん」、今や怖い病気と恐れられています。がんは年齢的には中年以降に多く発生します。男女とも四十歳を過ぎたら胃がんを、女性は三十歳を過ぎたら子宮がん、乳がんに注意する必要があります。がんの治療の決め手が見つかからない現在、検診を受け早期発見し、がんの原因となるものを避けて、がんを予防することが重要です。

胃がんが進むと便に血液がまじり便が黒くなることがあります。肺がんでは血痰が出たりすることがあり、子宮がんも出血しやすくなります。

この上うながんの「癌」をよく心得ておくことは、がんの早期症状を理解するうえにもたいせつことです。

わたしたちのふるさとは、炭坑と深いつながりをもった町です。忘れ去られようとしている

炭坑の様子や炭坑にまつわる物語をみなさん紹介していきます。

## 男一代 (4)

# 石炭物語

(4)

ところで要平は、船時代に梅ノ川から助けて

もらったことがあった。それは仲間同志のケンカで大勢から囲まれていたとき、梅ノ川の仲裁でこ

となきを得て、それ以来、要平は梅ノ川と兄弟の

ように付き合っていた。

そこで、このケンカのさまをみていた要平は、

水神を船子にあずけるや御ひとつになって、単身、

船づたいに芦屋の船へ乗り込み、大手を拡げて大

声で叫んだ。

「芦屋衆まってくれ、これは梅ノ

川が悪い、俺からもあやまる。どうか、この場はおさめてくれ、この落

し前（あと始末）は必ず俺がつける」

芦屋衆は要平が素手であるうえ、以前から知っていたこともあって、

「よし、今日のところは、お前にあざけてつかわす。そのかわり結着は若松でつけるので、それまで頭を冷やして考えておけ」

これで、この場は、ようやくおさまった。

船が若松につくと荷役を早々にすませた船頭たちは、ドンサ（剥し子縫いの半天）をヨソユキ着（耕着物に兵児帶）に着替えて、街へあがつた。当時、若松は石炭景氣で活況を呈し、なかでも料理屋、遊郭、劇場などは、どの店も玄関先で船頭が足定

えのよさに、どの店も船頭といえば下にはおかなかつた。

要平は話を円満に解決すべく梅ノ川を伴って、芦屋衆の指定した連歌町の現銀亭へおもむいた。

しかし、まだ芦屋衆は来ていなかった。ここは芦屋の川船船頭出身の吉田磯吉へのち筑豊の大親分となつた人で、若松市長吉田敬太郎の尊父が開店したばかりの小料理屋で、しばらくすると十人ばかりの芦屋船頭衆があがり込んできた。

要平は梅ノ川と共に不徳を詫びたあと、先方の話をうかがうと、彼らは梅ノ川の詫びの印に小指を詰めて（切る）よこせといった。

これは要平が腹を立てた。小指がないと水神に力が入らないばかりか、角力を取ることもできない。

そこでは要平は「梅ノ川に船の損害を弁償させて、この場の支払いは俺が持つ」と切り出した。ところが、おさまらないのは芦屋船頭衆である。すつたもんだのすえ話が決裂して、この野郎とばかりに芦屋衆が總立ちとなり、気の早い奴は懇の匕首へ手をかけた。

あわや、それまでと思つたところ、フスマがあいて吉田磯吉が現れた。

「みんな者まつてくれ、隣の部屋で聞いたが、曲川の若い者がい

うのも一理ある。俺も昔は芦屋船頭の端くれだ、悪いようにはしないから、この場は俺にまかせてくれ」

當時、若松で売り出したばかりの磯吉の仲裁である。芦屋側もむげに断るわけにはいかず、その場は磯吉に一任することにした。まもなくこれによつて事件は解決したが、おかげで要平は芦屋船頭衆と仲直りができるばかりでなく、そのあと磯吉から可愛がられて次第に感化されていった。

ところで吉田磯吉は、慶応三年に芦屋で生まれ幼にして父を失い、母が魚や野菜の行商をして、姉二人と磯吉を育ててきたので、磯吉は十六歳のときに川船船頭となつた。少年時代の磯吉は、のちに國士となつて活躍した杉山茂丸（作家夢野久作の父）とは腕白友だちで、茂丸の磯吉へ与えた影響は大きく、その後、二人の関係は磯吉が政界入りしたあとまでつづいた。

なお姉スエが若松連歌町の遊郭大吉楼の若主人と結婚したことから、磯吉は二十六歳で川船船頭をやめて、その食客となつた。ところが二、三年もすると、磯吉の円満な人柄と大男で胆力があったことから、遊郭組合の認めるところとなり、それ以来、連歌町遊郭のみかじめをするようになつた。そこで磯吉は三十歳をすぎて結婚し、これを機会に姉スエは、大吉楼の裏に小料理屋現銀亭を磯吉にもたせて、おもに船頭相手の商いをさせていた。

この事件のとき磯吉は要平よりひと回り上の三十二歳。それ以来、磯吉と要平は久保民吉を挟んでの関係もあつて、急速に接近していく。

(つづく)

(文) 土地史家 桑田貞志